

	令和5年度行政事業レビューシート					(文部科学省)	
事業名	日本パラスポーツ協会補助			担当部局庁	スポーツ庁		作成責任者
事業開始年度	平成26年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	健康スポーツ課		健康スポーツ課長 和田訓
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	スポーツ基本法(平成23年法律第78号)第33条第3項			関係する 計画、通知等	第3期スポーツ基本計画(令和4年3月25日策定) 障害者基本計画(第4次)(平成30年3月策定)		
政策	11 スポーツの振興			主要経費	教育振興助成費		
施策	11-2 スポーツを通じた活力があり絆の強い社会の実現						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20211220-mxt_kanseisk02-000019646_11-2.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	スポーツ基本法(平成23年法律第78号)の規定に基づき、障害者スポーツの統括団体として、障害者スポーツの振興について中心的な役割を担っている、公益財団法人日本パラスポーツ協会に対し、事業に必要な経費の一部を補助することで、同協会が行う障害者スポーツの振興を支援する。						
現状・課題 (5行程度以内)	活力ある共生社会の創造のためには、障害のある人たちが、障害の種類や程度、ライフステージに応じて、身近な地域で日常的にスポーツを楽しめる環境を整備することが必要である。						
事業概要 (5行程度以内)	公益財団法人日本パラスポーツ協会の実施する、以下の事業に必要な経費の一部を補助する。 (1)障害者スポーツ振興事業:障害者スポーツに関する調査研究や情報収集・提供、障害者スポーツの普及・啓発、指導者の研修等を実施する。 (2)総合国際競技大会派遣等事業:パラリンピック、デフリンピック、スペシャルオリンピックス等への日本代表選手団の派遣を実施する。 (3)競技力向上推進事業:パラリンピック競技大会等の国際競技大会におけるメダル獲得に向けて、国際競技力の向上に資する情報収集・提供やドーピング防止活動の推進に取り組む。						
事業概要URL	-						
実施方法	補助						
補助率等	定額						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の 状況	当初予算(A)	352	601	569	588	969
		補正予算(B)	20	-	-	601	
		令和5年度第1次補正予算				601	
						-	
						-	
						-	
						-	
		前年度から繰越し(C)	-	206	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	▲ 206	-	-	-	
		予備費等(E)	-	-	-	-	
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	166	807	569	1,189	969	
	執行額(G)		166	598	569		
	執行率(%) =(G)/(F)		100%	74%	100%		
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		45%	100%	100%		
	令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)	
(項)		スポーツ振興費			地域の障害者スポーツ振興の拠点である障害者スポーツセンターの機能強化事業を重点的に行うため。 2025年デフリンピック東京大会の開催に向けて、デフスポーツの振興に取り組むため。		
(目)		民間スポーツ振興費等補助金	588	969			
		その他					
計(A)		588	969				

活動内容① (アクティビティ)		公益財団法人日本パラスポーツ協会の実施する、以下の事業に必要な経費の一部を補助する。									
↓											
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		障害者スポーツ指導者養成講習会の実施	障害者スポーツ指導者養成講習会の実施回数	活動実績	回	11	－	16	－	－	
				当初見込み	回	12	10	10	10	10	
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	障害者スポーツ指導者養成講習会の実施が、障害者スポーツ指導者の養成につながるため、成果目標として設定。									
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 － 年度		
		障害者スポーツ指導者の養成	障害者スポーツ指導者数	成果実績	人	26,232	25,953	26,547	－		
				目標値	人	29,500	30,000	30,000	30,000		
				達成度	%	88.9	86.5	88.5	－		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		公益財団法人日本パラスポーツ協会公認パラスポーツ指導者(https://www.parasports.or.jp/leader/leader_qualified_reference.html)									
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	障害者スポーツ指導者を養成することで、障害者のスポーツ実施環境の整備が進み、障害者のスポーツ実施率が向上すると考えられるため、障害者のスポーツ実施率の向上を長期アウトカムとして設定した。									
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 8 年度		
		障害者のスポーツ実施率の向上	障害者の週1回以上のスポーツ実施率	成果実績	%	24.9	31	30.9	－		
				目標値	%	40	40	40	40		
				達成度	%	62.3	77.5	77.3	－		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		令和4年度障害者スポーツ推進プロジェクト(障害児・者のスポーツライフに関する調査研究)報告書									
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
		－									
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									
		－									

活動内容② (アクティビティ)		公益財団法人日本パラスポーツ協会の実施する、以下の事業に必要な経費の一部を補助する。									
↓											
活動目標及び活動実績② (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		総合国際競技大会に選手団を派遣する	総合国際競技大会に派遣した選手団の人数	活動実績	人	－	621	149	－	－	
				当初見込み	人	490	500	500	500	500	
↓	成果目標②-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	総合国際競技大会に選手団を派遣すること自体が目標となるため、成果目標として設定。									
成果目標及び成果実績②-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 － 年度		
		総合国際競技大会に選手団を派遣する	総合国際競技大会に派遣した選手団の人数	成果実績	人	－	621	149	－		
				目標値	人	490	500	500	500		
				達成度	%	－	124.2	29.8	－		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		民間スポーツ振興費等補助金に係る事業実績報告書(日本パラスポーツ協会補助)									
↓	成果目標②-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	総合国際競技大会に選手団し、国際大会等を経験することで、国際大会等における競技成績の向上を目指すことができるため、総合国際競技大会における過去最高水準の競技成績を長期アウトカムとして設定した。									
成果目標及び成果実績②-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 10 年度		
		総合国際競技大会での過去最高水準の競技成績	総合国際競技大会における入賞競技数	成果実績	競技	－	－	－	－		
				目標値	競技	－	－	－	12		
				達成度	%	－	－	－	－		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		総合国際競技大会における入賞競技数 (新たに指標を設定したため実績は未記載)									
アウトカム設定について の説明		アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由									
		－									
		アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由									
		－									

活動内容③ (アクティビティ)		障害者が身近な場所でスポーツを実施するための用具等の整備の支援を行う。									
↓											
活動目標及び活動実績 ③ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		障害者がスポーツを実施するための用具等の整備	スポーツ用具の整備を行った団体数	活動実績	団体	-	-	-	-	-	
				当初見込み	団体	-	-	-	130	-	
↓	成果目標③-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	スポーツ用具の整備により、団体にスポーツ用具が整備されるため、成果目標として設定。									
成果目標及び成果実績 ③-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度		
		障害者がスポーツを実施するための用具等の整備	スポーツ用具の整備を行った団体数	成果実績	団体	-	-	-	-		
				目標値	団体	-	-	-	-		
				達成度	%	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		事業計画書及び事業実績報告書等									
↓	成果目標③-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	障害者スポーツ指導者を養成することで、障害者のスポーツ実施環境の整備が進み、障害者のスポーツ実施率が向上すると考えられるため、障害者のスポーツ実施率の向上を長期アウトカムとして設定した。									
成果目標及び成果実績 ③-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 8 年度		
		障害者のスポーツ実施率の向上	障害者の週1回以上のスポーツ実施率	成果実績	%	24.9	31	30.9	-		
				目標値	%	40	40	40	40		
				達成度	%	62.3	77.5	77.3	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		令和4年度障害者スポーツ推進プロジェクト(障害児・者のスポーツライフに関する調査研究)報告書									
アウトカム設定について の説明		アクティビティ③について定性的なアウトカムを設定している理由									
		-									
		アクティビティ③についてアウトカムが複数設定できない理由									
		-									

資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位：百万円)

スポーツ庁
569百万円

障害者スポーツに係る普及・啓発、調査研究、情報収集・提供、
障害者スポーツ指導者の養成・活用等の総合的な振興事業

総合国際競技大会派遣等事業

競技力向上推進事業

【補助】

A. 公益財団法人日本パラスポーツ協会
569百万円

費目・使途
(「資金の流れ」において
ブロックごとに最大の金
額が支出されている者につ
いて記載する。費目と
使途の双方で実情が分
かるように記載)

A.			B.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
補助	障害者スポーツ振興事業、総合国際競技大会派遣等事業、競技力向上推進事業にかかる経費	569			
計		569	計		

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	公益財団法人日本パラスポーツ協会	7010005017932	障害者スポーツ振興事業、総合国際競技大会派遣等事業、競技力向上推進事業にかかる経費	569	補助金等交付	-	-	-

支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載

チェック